

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））」は、このたび、第15期の決算を行いました。

当ファンドは、新興国債マザーファンドを通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EEM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第15期末(2022年8月12日)

基準価額	9,813円
純資産総額	60百万円
第15期	
騰落率	8.3%
分配金(税引前)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

新興国債オープン （1年決算型） （愛称 アトラス（1年決算型））

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2021年8月13日～2022年8月12日

交付運用報告書

第15期（決算日 2022年8月12日）

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2021年8月13日～2022年8月12日）



期首：9,153円

期末：9,813円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：8.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年8月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。また、中国の国債利回りが低下したことを受けて、保有債券の価格が上昇したこと。
- ・インドネシアルピア、ブラジルレアル、メキシコペソなど多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・保有していたロシア国債の評価額および未収利息（利払日が到来していない経過利息）を実質ゼロに引き下げたこと（ロシアによるウクライナ侵攻直前におけるロシア国債の評価額および未収利息の合計は純資産の4.4%）。
- ・ペルー国債の利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・トルコリラが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

（2021年8月13日～2022年8月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	133 (63) (61) (8)	1.430 (0.682) (0.660) (0.088)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	12 (6) (1) (4)	0.124 (0.068) (0.013) (0.043)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、クレジット・リンク・ノートの発行体に関する年間手数料等
合 計	145	1.554	
期中の平均基準価額は、9,307円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

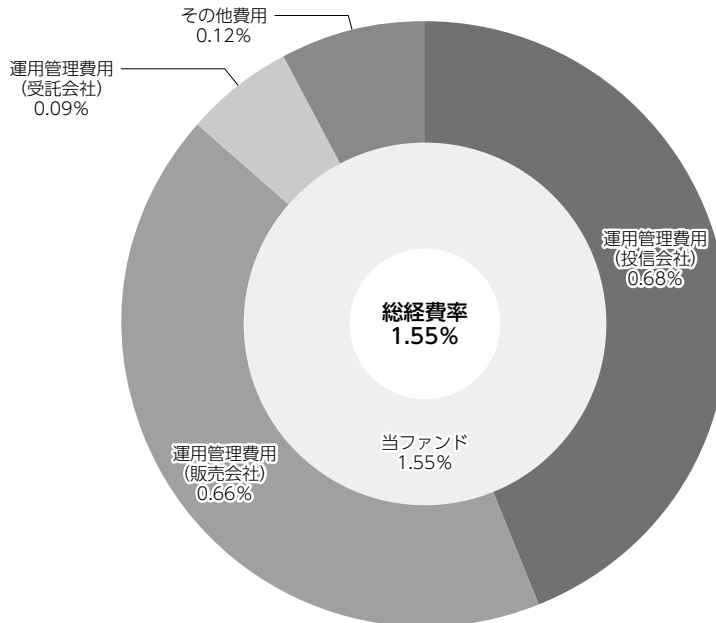
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

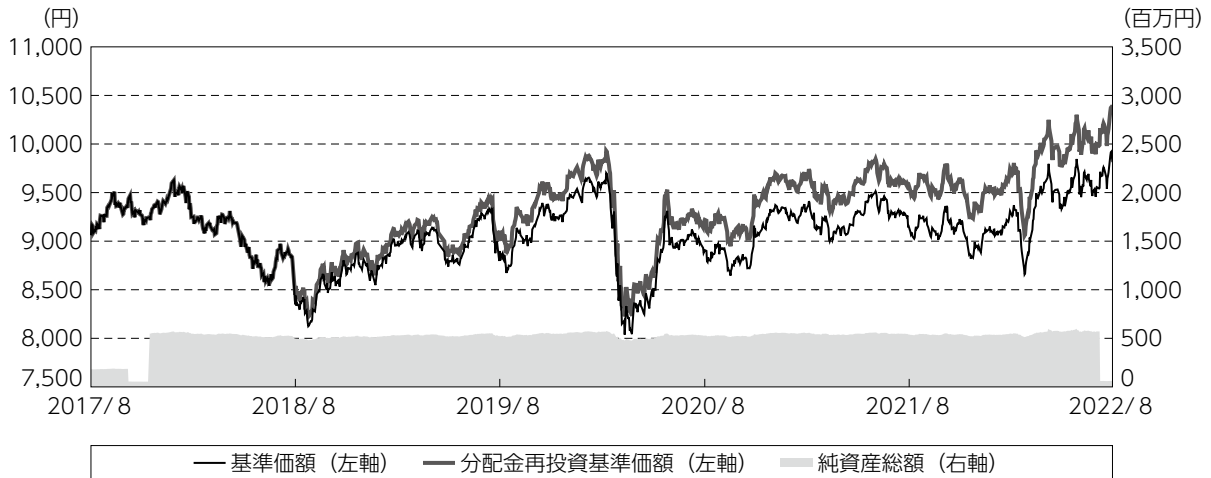
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2017年8月14日～2022年8月12日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年8月14日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年8月14日 期初	2018年8月13日 決算日	2019年8月13日 決算日	2020年8月12日 決算日	2021年8月12日 決算日	2022年8月12日 決算日
基準価額 (円)	9,062	8,388	8,796	8,879	9,153	9,813
期間分配金合計(税引前) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 6.3	6.1	2.1	4.2	8.3
GBI-E M(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)騰落率 (%)	—	△ 3.9	4.4	2.2	7.9	4.6
純資産総額 (百万円)	179	496	520	526	539	60

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) GBI-E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

（2021年8月13日～2022年8月12日）

＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）など日本を除く主要先進国の中央銀行が金融引き締め姿勢を鮮明にする中、先進国の国債利回り上昇（価格は下落）に連動する形で利回り上昇が進行しました。また、新興国において、エネルギー価格や農産物価格の上昇に伴うインフレ圧力の顕在化を受けて、利上げを実施する国が相次いだことも、新興国の国債利回り上昇を後押ししました。この結果、当期間においては、ポーランドやブラジルを筆頭に多くの国で国債利回りが上昇しました。一方、中国では金融緩和策が実施されたことを受けて、国債利回りが低下（価格は上昇）しました。

＜為替市場＞

為替市場では、日本と主要先進国との内外金利差拡大や日本の貿易収支悪化を背景に、先進国通貨に対する円安基調が鮮明となる中、新興国通貨に対しても大幅な円安が進行しました。特に、ロシアルーブル、ペルーソル、ブラジルレアルなどの資源国通貨の上昇が顕著となりました。一方、トルコリラに対しては、インフレ圧力が強まる中で大幅な利下げを実施したことや、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が懸念されたことから、大幅な円高が進行しました。この結果、当期間においては、投資していた12通貨のうちトルコリラを除く11通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年8月13日～2022年8月12日）

＜新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））＞

「新興国国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○新興国国債マザーファンド

J Pモルガン社のGBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、12カ国、12通貨（日本および円は除いていません）に投資を行いました。ただ、インド国債およびインドルピー（クレジット・リンク・ノート（CLN）^{*}を通じての投資）に関しては、当期間中に全て売却したため、期末時点での保有はありません。一方、新規でタイ国債への投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。

また、当期間においては、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、ロシア国債の売買および決済が事実上停止されたことなどから、その後保有していたロシア国債の評価額および未収利息を実質ゼロに引き下げました。

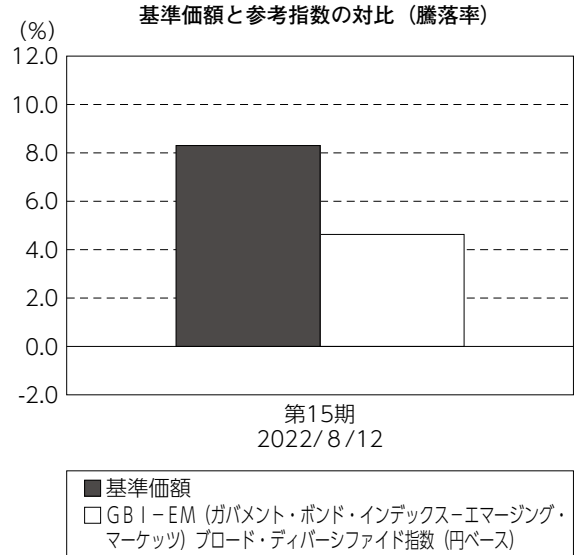
期末時点の新興国国債の投資比率は96.1%、外貨の投資比率は97.7%、投資国上位は、インドネシア、マレーシア、ブラジルとなっています。前期末からの主な変化は、ブラジル、マレーシア、ポーランドなどの投資比率が上昇する一方、インド（全売却）、ロシアなどの投資比率が低下しました。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.82年となり、前期末と比較し長期化となりました。

^{*}クレジット・リンク・ノート（CLN）は、現地通貨建ての新興国国債または新興国の政府機関債にパフォーマンスが概ね連動する債券です。クレジット・リンク・ノート（CLN）は、米ドル建てで発行されていますが、ファンドに与える実質的な影響を考慮し、連動先債券の国および通貨の情報に基づいて前述の分類を行っています。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年8月13日～2022年8月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GB I - EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

主要投資対象国の金利と為替

発行国	債券利回り			為替レート		
	2021/8/12	2022/8/12	変化幅	2021/8/12	2022/8/12	変化率
中国	3.04%	2.83%	△ 0.21%	17.04	19.77	16.0%
インド	6.49%	7.29%	0.80%	1.50	1.69	12.7%
インドネシア	6.26%	6.84%	0.58%	0.77	0.91	18.2%
マレーシア	3.33%	4.05%	0.72%	26.05	29.97	15.1%
タイ	1.56%	2.57%	1.01%	3.31	3.79	14.5%
ポーランド	1.18%	5.72%	4.54%	28.29	29.35	3.8%
ロシア	6.90%	—	—	1.50	2.21	47.3%
トルコ	17.54%	15.91%	△ 1.63%	12.79	7.43	△ 41.9%
ブラジル	9.30%	12.50%	3.20%	21.14	25.84	22.3%
メキシコ	7.07%	8.57%	1.50%	5.54	6.68	20.7%
ペルー	6.37%	7.73%	1.36%	26.96	34.39	27.5%
南アフリカ	9.81%	10.31%	0.50%	7.52	8.19	8.9%

各国の債券利回りは、「G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数」の情報に基づくため、償還年限は国ごとに異なります。また、ファンドが実際に投資している債券の利回りとは異なります。なお、各利回りとも該当日の前営業日のデータを使用しています。ロシア国債は、「G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数」の構成国から除外されたため、利回りデータは「—」で表示しています。為替レートは対顧客電信売相場の当日（東京）の仲値です。インドネシアに関しては、100倍して表示しています。

「新興国国債マザーファンド」の主要投資対象国別組入比率

	2021/8/12	2022/8/12	変化幅
中国	11.1%	11.9%	0.8%
インド	7.6%	—	△ 7.6%
インドネシア	14.0%	14.1%	0.1%
マレーシア	6.8%	12.5%	5.7%
タイ	—	2.5%	2.5%
ポーランド	5.1%	9.0%	3.9%
ロシア	5.2%	0.0%	△ 5.2%
トルコ	4.1%	1.3%	△ 2.8%
ブラジル	6.3%	12.2%	5.9%
メキシコ	9.3%	10.9%	1.6%
ペルー	7.2%	10.2%	3.0%
南アフリカ	8.3%	11.6%	3.3%

比率は、「新興国国債マザーファンド」の純資産総額に対する率です。クレジット・リンク・ノート（C L N）を組み入れている場合は、実質的に投資している国の比率として表示しています。

分配金

（2021年8月13日～2022年8月12日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第15期
	2021年8月13日～ 2022年8月12日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	1.009%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,636

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

先進国の国債市場では、政策金利の引き上げが着実に進展すると見ていますが、急速な金融引き締めは将来の景気減速や景気後退につながるとの観測が優勢となりつつあり、今後も利回り上昇が抑制される展開になると考えています。新興国においては、多くの国でエネルギー価格や農産物価格の上昇に伴うインフレ圧力が顕在化しており、政策金利を引き上げる動きが続くと見ています。しかし、先進国の国債利回り上昇に歯止めがかかったことや、ブラジルなど一部の新興国では利上げの打ち止めに視野に入り始めていることから、新興国の国債市場における利回り上昇余地は限定的と判断しています。

為替市場では、日本の大幅な貿易赤字が実需面での円売り要因になるとともに、米金利の先高観測の後退が新興国通貨の下支え要因になると見ており、新興国通貨が対円で底堅く推移する展開を想定しています。また、新興国の相対的な利回り水準の高さを背景に、今後も新興国への投資資金の流入が期待されることに加え、資源国の多くは通貨が割安水準にあると判断しており、中長期的に投資の好機と考えています。

（運用方針）

<新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国国債マザーファンド

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としているJPモルガン社のGB I-E Mブロード・ディバースファイド指数の構成国から排除されることとなりました。このため、現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

お知らせ

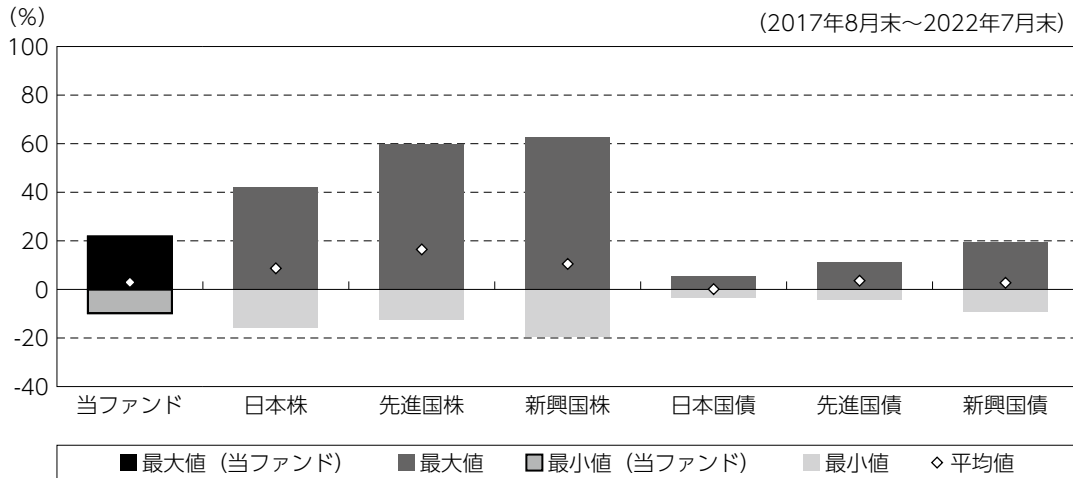
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	<p>新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。</p>	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	新興国国債マザーファンド	<p>投資にあたっては、JPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、利回り水準や流動性等を考慮して選定した新興国の国債等に、ポートフォリオの70%程度を投資します。（ステップ①）</p> <p>次に、ポートフォリオの30%程度を、GDP、経常収支、外貨準備高等から総合的に判断して、ファンダメンタルズが良好であり、あるいはファンダメンタルズの改善が見込めることなどから、通貨価値の上昇が見込まれる新興国の国債等に投資します。なお、この場合に、ステップ①で投資した新興国の国債等に重複して投資する場合があります。（ステップ②）</p>
分配方針	<p>毎年8月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.8	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 9.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4
平均値	2.9	8.7	16.5	10.5	0.1	3.6	2.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年8月から2022年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

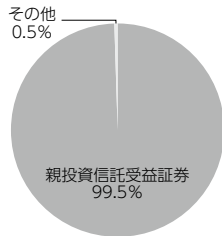
組入資産の内容

(2022年8月12日現在)

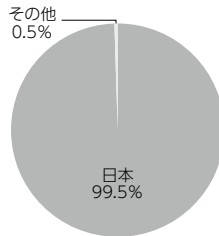
○組入上位ファンド

銘柄名	第15期末
新興国債マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

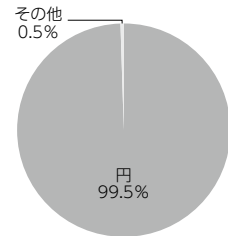
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

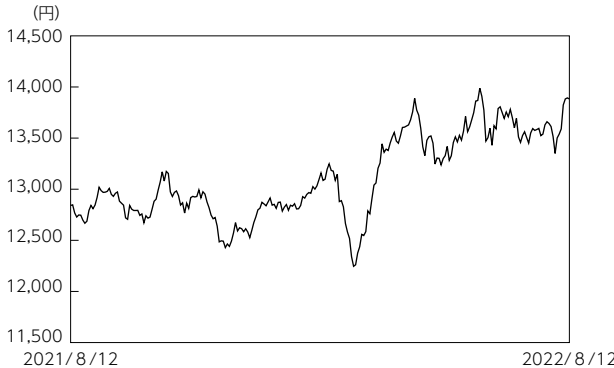
項目	第15期末
	2022年8月12日
純資産総額	60,888,465円
受益権総口数	62,047,937口
1万円当たり基準価額	9,813円

(注) 期中における追加設定元本額は22,674,451円、同解約元本額は550,071,878円です。

組入上位ファンドの概要

新興国国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年8月13日～2022年8月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	14	0.109
（ 保 管 費 用 ）	(9)	(0.069)
（ そ の 他 ）	(5)	(0.040)
合 計	14	0.109

期中の平均基準価額は、13,138円です。

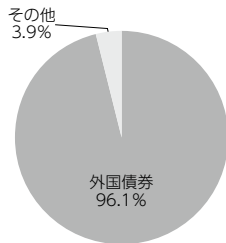
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

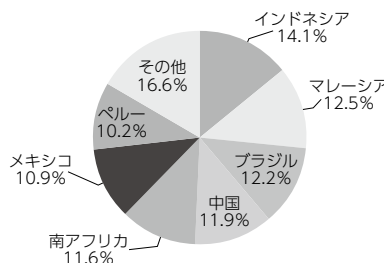
(2022年8月12日現在)

銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地域)	比 率
1 PERU B SOBERANO 8.2	国債証券	ペルーソル	ペルー	10.2
2 POLAND GOVT BOND 1.25	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	9.0
3 BRAZIL NTN-F 10	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	8.7
4 MALAYSIA GOVT 3.882	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	8.7
5 MEXICAN BONOS 7.75	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	8.6
6 CHINA GOVT BOND 3.82	国債証券	オフショア元	中国	8.2
7 REP SOUTH AFRICA 8	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	7.9
8 INDONESIA GOV'T 7	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	7.1
9 INDONESIA GOV'T 8.25	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	5.1
10 MALAYSIA GOVT 3.885	国債証券	マレーシアリンギット	マレーシア	3.9
組入銘柄数	20銘柄			

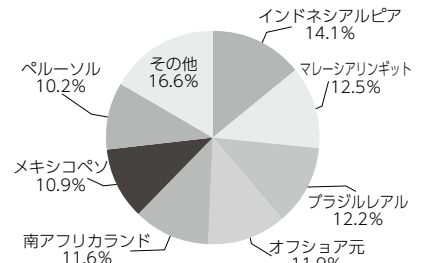
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。通貨別配分につきましては、組入債券の通貨別比率を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<当ファンドの参考指数について>

GBI-EEM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数（円ベース）は、J.P. Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。